

ユアサイドニュース 1 月（臨時）号

40 年ぶりの大改正と注目されていた労働基準法改正法案は、2026 年度の通常国会への提出が見送りとなりました。

高市早苗首相による「心身の健康維持と従業者の選択を前提にした労働時間規制の緩和検討」という指示について、労働者側から反対意見が出たため、現状では取りまとめが困難であると、判断されたとのことです。